

光 市 記 者 発 表 資 料

平成29年11月13日

件 名 2018年（平成30年）「カレンダー」、 「土鈴」 の贈呈について

内 容

1 趣旨

光市心身障害者福祉作業所「つつじ園」で毎年作成しています、2018年（平成30年）版カレンダーが完成しましたので、市川市長に贈呈のため市長室を訪問します。

2 日時

平成29年11月22日（水） 10:30から

3 場所

光市役所本庁2階 市長室

4 来訪者

光市心身障害者福祉作業所 利用者 卯山 賢吾さん
付添い 卯山 君江さん
所 長 小川 浩一

5 贈呈品

(1) 障害者理解を深めるカレンダー

第一話：「卯山 賢吾」

パソコン画：穂本 伸一さん 短歌：中原 伸二さん 入力作業：卯山 賢吾さん

(2) 書き込みカレンダー

短歌：中原 伸二さん 挿絵：田中 義雄さん

(3) 来年の干支（戌の親子）土鈴

色付け作業：光市心身障害者福祉作業所「つつじ園」

問 合 せ 担当課 光市福祉総務課障害福祉係

担当者 矢野 光亮

電 話 0833-74-3001

2018年（平成30年）カレンダー、土鈴の贈呈式

平成29年11月22日（水）

市役所2階市長室 10:30～

- 1 開式
- 2 出席者紹介
- 3 カレンダー、土鈴の贈呈
- 4 市長謝辞
- 5 写真撮影
- 6 歓談
- 7 閉式

来訪者

光市心身障害者福祉作業所「つつじ園」

利用者 刈山 賢吾さん
付添い 刈山 君江さん
所長 小川 浩一

○障害者理解を深めるカレンダー

第一話：「刈山 賢吾」

短歌：中原 伸二（福祉作業所利用者）

パソコン画：穂本 伸一（福祉作業所利用者）

文字入力：刈山 賢吾

編集・印刷：光市心身障害者福祉作業所「つつじ園」

昨年度で偉人伝シリーズは、終了となり、今年度から障害者理解を深めるカレンダーを作成する。第一話として、福祉作業所利用者の「刈山 賢吾さん」を紹介し、障害者理解を深めるカレンダーとなっている。次年度は、福祉作業所利用者の「穂本 伸一さん」に関してのカレンダーを作成する予定。

過去の偉人伝シリーズ

- 2008年版 銀のかんざし『松岡フジ』
現室積小学校を作った話
- 2009年版 魚ヶ辺の道づくり『田村権十郎』
恋ヶ浜あたりの道づくりの話
- 2010年版 灯台を作った人『松村屋次郎左衛門・亀松親子』
室積の灯台の話
- 2011年版 シベリア横断『玉井喜作』
単独でのシベリア横断達成 日独貿易に貢献
- 2012年版 明治の天才画家『巖島虹石』
新しい日本画壇の担い手と期待されたが34歳の若さで死去
- 2013年版 倒幕戦に散った忠節の士『松岡梅太郎』
戊辰戦争で活躍、後に箱根で銃弾に倒れ死去
- 2014年版 千本の卒塔婆流し『平 康頼』
鹿ヶ谷の陰謀を知られ島流し 途中立ち寄った室積で出家
- 2015年版 『伊能忠敬と室積』
江戸時代、日本国中を測量してまわり、初めて実測による日本地図を完成させた人
- 2016年版 『山頭火 室積を行く』
自由律俳句の中でも最も著名な昭和の歌人の一人。
- 2017年版 『性空上人と室積』
存命中から多くの靈験があったことが伝えられ、書写上人とも呼ばれる。

偉人伝シリーズ以前・・・

民話シリーズ（2001年～2007年） A3版

- ・鬼飛彦兵衛
- ・かなやまひこ
- ・牛鬼
- ・永代橋の河童
- ・五坊山の仁王さあ
- ・島田川のだいじゃ
- ・やまんばの涙
- ・鶴攻めの城の七作

花シリーズ（1999年～2000年） A4版

○書き込みカレンダーについて

今年も福祉作業所利用者である中原伸二さんの短歌の入ったカレンダーを作成しました。2016年版から短歌入りのカレンダーとなり、今回で3年目となります。

短歌作者：中原 伸二さん

挿絵：田中 義雄（元福祉作業所所長）

編集印刷：光市心身障害者福祉作業所（つつじ園）

○親子戌の親子土鈴

色付け作業：光市心身障害者福祉作業所（つつじ園）